

山形市 消防活動支援へ企業協賛

ポンプ車にロゴ、画像装置提供

民間企業と連携し自治体の消防活動を支援する「ホワイトシャツタープロジェクト」に参加している山形市は18日、消防車側面のシヤッターに協賛企業ロゴを入れたはしご付きポンプ車をお披露目した。同市消防



感謝状贈呈式でお披露目された、シヤッターに協賛企業のロゴが入った消防車 山形市西消防署

本部には、企業からの協賛金を基に、熱源に反応して画像を映し出す熱画像直視装置1台が提供される。

プロジェクトは、一般社団法人PFI開発支援機構（東京）が企業に協賛を呼びかけ、協賛金で購入した資機材を参画自治体に提供する。自治体は協賛企業のPRに協力する。同市は2

020年に参画し、協賛による資機材提供は2回目。

協賛したのはコンクリート圧送業のヤマコン（山形市、佐藤隆彦社長）、総合自動車サービス業のサニックス（同、佐藤啓社長）の2社。協賛金は120万円。契約期間は1年間。

同市西消防署でお披露目を兼ねた2社への感謝状贈呈式を行い、佐藤孝弘市長が「より多くの人命を救うことにつながる。これから市民の安全に努力してい

きたい」と謝辞を述べた。

（野田達也）